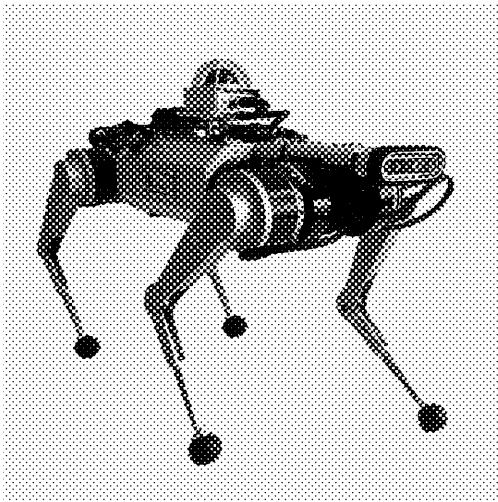


# 4足歩行ロボット開発

## 警備・点検 クフウシヤ、26年投入

【いわき】クフウシヤ（相模原市中央区、大西威一郎社長）は、海外で実用化段階にある4足歩行ロボットを2025年度中に開発する。26年4月に発売する計画で、価格は数百万円を見込む。また、4足歩行ロボットのパイオニアである米ボストン・ダイナミクス（マサチューセッツ州）の日本代理店である東北エンタープライズ（福島県いわき市）と協業し、ボストン・ダイナミクス製4足歩行ロボット「スポット」へのクフウシヤのロボットイクス技術の適用にも取り組む。



## 米社製に技術提供も

4足歩行ロボットは、ボットは海外メーカークフウシヤの研究拠点がある南相馬事務所（同南相馬市）が福島県から補助を受けて開発中、長さ500ミリ×幅300ミリ×高さ500ミリ、4足歩行ロボットを開発する4足歩行ロボット（イメージ）

・学習するフィジカル人工知能（AI）で動作する。

警備・点検などでタイヤやクローラー、飛行ロボット（ドローン）で行けない環境を4足で移動する。同社が開発してきた階段昇降ロボット、清掃ロボット、協働ロボットなどで蓄積したAI活用ノウハウを生かしている。

東北エンタープライズは東京電力福島第一原子力発電所や製鉄所、化学プラントなどにボストン・ダイナミクス製のロボットを販売。遠隔操作やプログラミングで巡回するシステムとして、データ計測業務などに納入している。クフウシヤは東北エンタープライズと協業し、スポットのシステムインテグレーションも行う。

ソフトウエアプラットフォームフォーム（基盤）「ROS」でロボットの行動を制御。センサーなどで現実の情報を収集